

令和4年度
学校だより
12月号

かごまち



令和4年12月1日
文京区立駕籠町小学校
校長 矢部 明美

学んでいるのは、「自分」

校長 矢部 明美

11月のある日。5年生がフィールドワークに出かけました。自分たちが暮らしている文京区はどんなところなのか、その様々なよさを発見するため、神社や寺、文豪の旧居跡等、行く先やコース、時間配分等、事前にすべて自分たちで話し合って計画し、グループごとに出かけました。

千駄木方面にある高村光太郎旧居をたずねた子どもたちが次のような会話をしていました。

(説明の看板を見ながら)「この辺に住んでいたんだよね」「うん、前は谷中にいたんだ」と、ここまでは調べてできることです。そのあと、「なんか、この辺で、すごく静かじゃない?」「うん、僕もそう思った。学校の周りとは違って静かだしお店とかもないね」そこでもう一度看板を見直し、「あ、ここにアトリエもあったんだ。そうか、ものを作るには、こういうひっそりと静かなところがいいって思ったのかも知れないね」…。

調べたことにとどまらず、その地で感じた、「静か」「ひっそり」ということを自分の身体感覚に落とし、友達と話すことで、さらに新たな自分たちの考えをつくり出している—自分たちがやりたいことを決め、実際に足を運んだことでその場の空気に触れ、音を感じ、景色を見て、知識と結び付けて言葉にし、自分たちで学びを広げている—そんな姿でした。子どもたちがこの後、「調べたこと」ではなく、「赴いて学んだこと」として、どのように表現していくのが楽しみです。

去る11月11日には、令和3、4年度文京区教育研究協力校として研究主題「学びを紡いでいく児童の育成」の下、研究発表会を開催いたしました。引き続き、自らの思いや願いをもつところから学びをスタートさせ、様々な他者と考えを交流させながら主体的に学びを進めながら、「答えの決まっている問題を早く解く」だけの力だけではなく、「持っている知識を活用しながら、課題をどのように解決していくか」という生きて働く力を子どもたちの中に育てていきます。そして、教科や行事の中で「学んでいるのは、自分なんだ!」と、実感できるようにしていきたいです。

今年一年、皆様の温かなご理解に支えられ最後の月を迎えられましたこと、幸せに思います。ありがとうございました。来年もよろしくお願いたします。どうぞよい年をお迎えください。

12月の行事予定 (いのちと人権月間)			詳しい時程については、学年だよりをご参照ください。		
日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木	4時間授業 (1~4年) B時程 和食出前授業 (5年)	17	土	
2	金	5時間授業 いのちと心の授業 (3年)	18	日	
3	土		19	月	全校朝会 4時間授業 (1年)
4	日		20	火	4時間授業 (1年)
5	月	全校朝会	21	水	
6	火	4時間授業 (1~2年) 5時間授業 (3~6年)	22	木	給食終 長唄教室 (5年)
7	水	児童集会 安全指導 4時間授業	23	金	終業式 土曜時程 4時間授業
8	木	脊柱側弯検診 (5年) 避難訓練	24	土	
9	金	4時間授業	25	日	
10	土		26	月	冬季休業日始
11	日		27	火	
12	月	全校朝会 箏の特別授業 (4年)	28	水	学校閉庁日
13	火	5時間授業 (1~4年) ユニセフ募金始	29	木	学校閉庁日
14	水	児童集会 保護者会 (2.4.6年14:15- 1.3.5年15:00-)	30	金	学校閉庁日
15	木	4時間授業 (1年) 学びの教室終	31	土	学校閉庁日
16	金	4時間授業 (1年) クラブ ユニセフ募金終			

「いのちと人権を考える月間」の取り組みについて

人権担当

21世紀の日本を、また世界を担いゆく大切な子供たちが、他者と調和を図りながら幸福に生きていくために必要なものが、人権意識であると感じます。東京都教育委員会は、「人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別をなくし、同和問題をはじめ様々な人権課題に関わる差別意識の解消を図るために、人権教育の果たす役割が重要である」としており、それに基づき、文京区では5月と12月を「いのちと人権を考える月間」と位置付け、本校でも取り組みを行ってきました。取り組みのねらいは以下の通りです。

- 人権尊重の精神を養い、一人一人の個性や能力の伸長に努める。
- 差別や偏見に気付き、自他を尊重する心情と態度を育てる。

5月には「駕籠町心いきいき標語」を書き、児童一人一人が、友達や生命の大切さなどについて考える機会を設けました。また12月には、各クラスの標語を話し合い、考えます。校門横に掲示しますので、ぜひご覧ください。このような活動を通して、自分のよさを認め、さらに自分と異なる他者のよさも認め合えるような、児童同士の関係を築いていきたいと思っています。



研究発表会を終えて

研究主任

本校は、令和3・4年度文京区研究協力校の指定を受け、「学びを紡いでいく児童の育成」を研究主題として、11月11日に研究発表会を行いました。研究発表会には、区内外の多くの先生方が来校されました。各学年一学級ずつ授業を公開し、その後、本校の研究について発表を行いました。駕籠町小学校の子どもたちが、各々の思いや目的をもち、学びを紡いでいく姿は、講師の先生方や参観者の方々から高い評価をいただきました。当日、授業を公開した学級だけではなく、公開をしなかった学級も同じように学習を行っており、学びを紡いでいく姿に高まりが見られます。これからも、駕籠町小学校全児童の学びが、「自分事」としてより深い学びに向かうことができるよう、努めて参ります。

